

(様式第2(四))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

評価に関する情報

4 / 5

識別番号・報告回数		B-08002921		第1報		一般的名称		リン酸オセルタミビル		該当なし	
医薬品を入手した国 (承認国)		医薬品販売名 (Lot)		一般的名称		医薬品に対して取られた処置		開始日 終了日		再投与による再発の有無	
								投与開始から発現までの時間間隔		投与終了から発現までの時間間隔	
1.	日本 (日本)	タミフル		リン酸オセルタミビル		投与中止		08/03/08 08/03/10			
2.	日本 (日本)	タミフル		リン酸オセルタミビル		投与中止		08/03/08 08/03/10			
3.	日本	カロナール		アセトアミノフェン		不明		08/03/08			
4.	日本	プリンペラン		メトクロプラミド		非該当		08/03/08 08/03/09			
5.	日本	イノリン		塩酸トリメトキノール		投与量変更せず		08/03/10			
6.	日本	ムコダイン		カルボシステイン		投与量変更せず		08/03/10			
7.	日本	アリメジン		酒石酸アリメマジン		投与量変更せず		08/03/10			
評価対象となる副作用/有害事象名				評価の情報源				医薬品と副作用/有害事象の因果関係 (評価方法)		評価結果	
1.	異常行動	REPORTER						おそらく関連あり 関連あるかもしれない おそらく関連あり 関連あるかもしれない おそらく関連あり 関連あるかもしれない おそらく関連あり 関連あるかもしれない		1. タミフル: TAMIFLU 2. タミフル: TAMIFLU 3. カロナール: 4. プリンペラン: その他の使用理由: 腸蠕動不良 5. イノリン: その他の使用理由: 鼻汁 6. ムコダイン: その他の使用理由: 鼻汁 7. アリメジン: その他の使用理由: 鼻汁	
	異常行動	REPORTER									
	異常行動	COMPANY									
	異常行動	COMPANY									
2.	異常行動	REPORTER									
	異常行動	REPORTER									
	異常行動	COMPANY									
3.											
4.											
5.											
6.											
7.											
報告された死因				剖検				剖検による死因		MedDRA	
										Version (11.0)	

(様式第2(五))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

母子に関する情報

5 / 5

識別番号・報告回数	B-08002921	第1報	一般的名称	リン酸オセルタミビル		該当なし		
関連報告番号			親の年齢	親の身長 cm	親の体重 kg	副作用／有害事象名 異常行動、 異常行動、 異常行動、 異常行動		
親の略名	親の性別	最終月経日						
曝露時の妊娠期間		発現時の妊娠期間						
親の関連する治療歴及び随伴状態				親の関連する過去の医薬品使用歴				
原病	開始日	終了日	備考	医薬品名	開始日	終了日	使用理由	副作用 (発現した場合のみ)
親の関連する治療歴及び随伴状態 (副作用／有害事象を除く)								
				MedDRA		Version (11.0)		

(様式第2(一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1/5

識別番号・報告回数	B-08003759	第2報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄
最新情報入手日	2008年06月19日		第一報入手日	2008年05月09日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの 永続的又は顕著な障害・ 機能不全に陥るもの 先天異常を来すもの ◎ その他の医学的に重要な状態	報告された死因 (死亡の場合)		新医薬品等の区分 該当なし	
副作用	30日	身長 cm	過去の副作用歴	原疾患・合併症・ 既往歴					
発現国 (情報源)	日本 (日本)		体重 kg	有害事象なし		インフルエンザ インフルエンザ			
患者略名	K.A.								
性別	女性								
年齢	4歳	曝露時の妊娠期間							

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量		投与期間		医薬品使用理由
					投与量/回	回数	開始日	終了日	
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	SYR	25mg/2回	1日 (不明)	07/03/17		インフルエンザ
ペリアクチン	塩酸シプロヘプタジン	0	経口	SYR	7mL/3回	1日	07/03/16	07/03/18	
カロナール	アセトアミノフェン	0	直腸	SUP	133mg/1回	1日 (200mg × 2/3個)	07/03/16	07/03/17	
ナウゼリン	ドンペリドン	0	直腸	SUP	10mg/1回	1日	07/03/17		

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの時間間隔	最終投与からの時間間隔	転帰
重・非	異常行動 (異常行動・異常言動)	異常行動		07/03/17	07/03/17			回

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

TAMIFLU
 身長：不明、体重：()kg
 2007/03/17
 インフルエンザA型と診断。
 (12:00) 本剤服用。
 (15:00) 開眼し、意味不明の言動あり。異常行動・異常言動発現と判断。
 (17:00) 突然起きだし、シクシク泣く。一点凝視し、震える。おびえた様子。「こわい夢を見た」と言う。
 (17:15) 当院へ母よりTELあり。「子供のそばを離れないように。様子がおかしい時はだっこするように。本剤服用が心配なら中止してもよい。」 (医師不在のためナース対応)
 (18:00) 部屋の角を指差し泣きだす。
 その後も本剤服用続けるが、異常行動は見られず。回復と判断。
 2007/03/19
 再診。解熱し元気ようになった。

MedDRA

Version (11.0)

(様式第2 (一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-08003759	第2報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄
-----------	------------	-----	--------	--	----	-------	-----	--	-------

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

【インフルエンザに関する詳細情報】

- ・本剤投与目的：治療投与
- ・診断日：2007/3/17 (午前)
- ・ウイルス診断の有無：有 (FluA、サンプル採取箇所：記載なし)
- ・発症日：2007/3/16 (午後)
- ・発症時に認められた自覚症状：
発熱：39.7℃、鼻症状、悪寒
- ・転帰日：2007/3/19

【患者背景】

- ・インフルエンザ既往歴：有
罹患時期：2005年3月22日
本剤服用歴：有
本剤による副作用歴：無
- ・本剤以外のインフルエンザ治療薬による治療歴：無
- ・睡眠時驚愕症、睡眠時遊行症等の睡眠時の異常に関する既往歴
患者本人：無、患者家族：不明
- ・熱性痙攣既往歴
患者本人：無、患者家族：不明
- ・熱性疾患による錯乱・熱性せん妄等の既往歴：無
- ・薬物等に対する依存歴：無
- ・アレルギー歴：無
- ・副作用歴：無
- ・本剤服用Point：投与1日目 午前・午後、投与2日目 午前・午後、投与3日目 午前・午後

【異常な行動、精神神経症状に関する詳細情報】

- ・走る、暴れる等の動きを伴いましたか？ いいえ
- ・これらの動きを誰かが制止しましたか？ 情報なし
- ・副作用は睡眠中ですか？ はい (就寝時刻17:00)
- ・副作用発現後、一眠りして完全に回復しましたか？ はい
- ・副作用発現内容を患者さんは記憶していますか？ 記憶なし
- ・副作用発現時の体温は何度ですか？ 39.7℃
- ・また発熱持続中ですか？ はい
- ・副作用発現前24時間以内に解熱剤を服用していますか？ はい (24時間以内)
- ・以前に同様の副作用を起こしたことがありますか？ いいえ
- ・光をまぶしがったり、明るくするとさらに興奮しましたか？ 不明
- ・今回の副作用発現後に入院しましたか？ いいえ
- ・入院なしの場合、副作用発現後に医師の診察を受けましたか？ いいえ
- ・副作用症状の精査のため、追加の検査が行われましたか？ 情報なし

MedDRA	Version (11.0)
--------	----------------

(様式第2(二))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

2 / 5

識別番号・報告回数	B-08003759	第2報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	該当なし
担当医等の意見			報告企業等の意見		
異常行動は、インフルエンザによるものと思われた。本剤は服用を続けたが、その後問題なく、因果関係は否定的と思われた。			本剤投与後に発現しているため本剤と異常行動との関連性は否定できないが、インフルエンザウイルス感染および発熱による影響も考えられる。		
今後の対応					
<p>今後とも同様の副作用の収集に努め、評価していく。</p> <p>なお、2007年3月20日、警告欄に「10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控えること。</p> <p>また、小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療が開始された後は、(1)異常行動の発現のおそれがあること、(2)自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。</p> <p>なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。」を記載し、緊急安全性情報を配布し医療関係者に注意喚起を行った。</p>					
送信者による診断名／症候群及び／又は副作用／有害事象の再分類			第一次情報源により報告された副作用／有害事象		
			異常行動・異常言動		
累積報告件数・使用上の注意記載状況等					
<p>本症例は、報告者より非重篤と判断されているが、内容より企業として重篤と判断した。</p> <p>1. 使用上の注意記載状況 (国内) 重大な副作用：精神・神経症状 (意識障害、異常行動、譫妄、幻覚、妄想、痙攣等) その他の副作用：興奮 (CDS) Psychiatric disorders/Nervous system disorders</p> <p>2. 累積報告件数 2007年4月9日以降の異常な行動：237件 (本件を含む)</p>					
引用文献			資料一覧		
				MedDRA	Version (11.0)